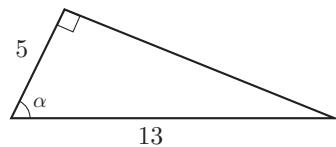


1 右の図の直角三角形について、角 α の正弦、余弦、正接を求めよ。

a) $\sin \alpha =$

b) $\cos \alpha =$

c) $\tan \alpha =$

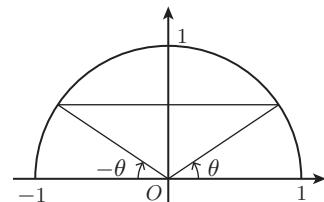


2 右の図を参照して次の式を $\sin \theta$, $\cos \theta$, $\tan \theta$ で表せ。

a) $\sin(180^\circ - \theta) =$

b) $\cos(180^\circ - \theta) =$

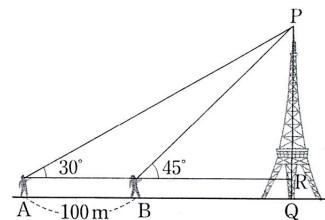
c) $\tan(180^\circ - \theta) =$



3 次の表を完成させよ。

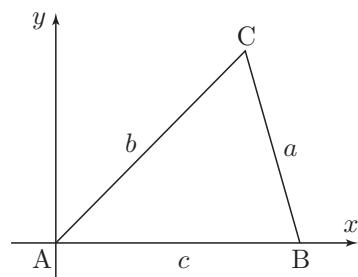
θ	0°	30°	45°	60°	90°	120°	135°	150°	180°
$\sin \theta$									
$\cos \theta$									
$\tan \theta$									

4 右の図のように、ある地点 A から塔の先端 P を見上げる角を測ったら 30° であった。次に、塔に向かって、100m 進んだ地点 B から P を見上げる角を測ったら 45° であった。目の高さを 1.5m とすると、塔の高さは何 m か。



学籍番号 : _____ 氏名 : _____

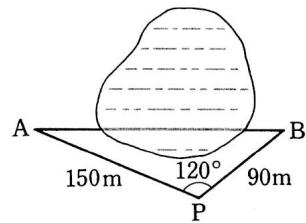
- 5 三角形 $\triangle ABC$ に対して右図のように座標軸を定めれば、3頂点の座標はそれぞれ、 $A(0, 0)$, $B(c, 0)$, $C(b \cos A, b \sin A)$ となる。 BC の長さの2乗を計算することにより余弦定理 $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$ を証明せよ。



- 6 右の図のように、池を隔てた2地点A, B間の距離を求めるため、 PA , PB , $\angle APB$ を測ったところ、

$$PA = 150\text{m}, PB = 90\text{m}, \angle APB = 120^\circ$$

であった。A, B間の距離を求めよ。



- 7 次の角は弧度法でいくらか。

a) $12^\circ =$	b) $15^\circ =$	c) $36^\circ =$	d) $45^\circ =$
e) $90^\circ =$	f) $120^\circ =$	g) $135^\circ =$	h) $150^\circ =$

- 8 弧度法で表された次の角を度数で表せ。

a) $\frac{\pi}{10} =$	b) $\frac{\pi}{5} =$	c) $\frac{2\pi}{3} =$	d) $\frac{5\pi}{12} =$
e) $\frac{5\pi}{4} =$	f) $\frac{3\pi}{2} =$	g) $\frac{7\pi}{4} =$	h) $3\pi =$

9 右の図を参照して次の式を $\sin \theta$, $\cos \theta$, $\tan \theta$ で表せ.

a) $\sin(-\theta) =$

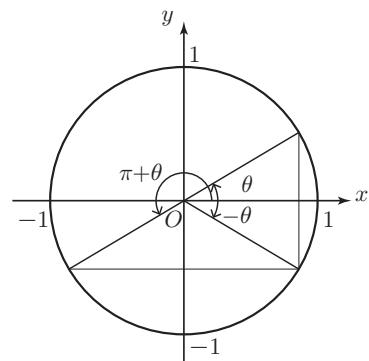
b) $\cos(-\theta) =$

c) $\tan(-\theta) =$

d) $\sin(\pi + \theta) =$

e) $\cos(\pi + \theta) =$

f) $\tan(\pi + \theta) =$



10 次の値を求めよ.

a) $\sin \frac{7\pi}{6} =$

b) $\sin\left(-\frac{2\pi}{3}\right) =$

c) $\sin \frac{4\pi}{4} =$

d) $\cos \frac{7\pi}{6} =$

e) $\cos\left(-\frac{2\pi}{3}\right) =$

f) $\cos \frac{4\pi}{4} =$

11 次の方程式をみたす角 θ を求めよ. ただし, $0 \leq \theta < 2\pi$ とする.

a) $\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$

b) $\sin \theta = -\frac{\sqrt{2}}{2}$

c) $\cos \theta = \frac{1}{2}$

d) $\sqrt{2} \cos \theta = 1$

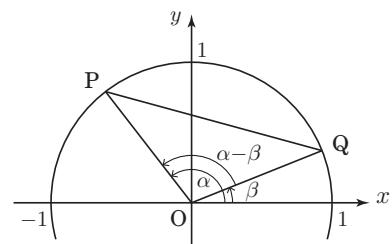
12 次の不等式をみたす角 θ の範囲を求めよ. ただし, $0 \leq \theta < 2\pi$ とする.

a) $\cos \theta \leq \frac{\sqrt{3}}{2}$

b) $\sin \theta > \frac{1}{2}$

13 右の図を参照して三角関数の加法定理を証明したい。

- a) $\triangle OPQ$ に余弦定理を適用して、 PQ^2 を $\cos(\alpha - \beta)$ を用いて表せ。



- b) P, Q の座標がそれぞれ $P(\cos \alpha, \sin \alpha), Q(\cos \beta, \sin \beta)$ であることを使って、 PQ^2 を $\cos \alpha, \cos \beta, \sin \alpha, \sin \beta$ を用いて表せ。

- c) a) と b) の結果をあわせて、 $\cos(\alpha - \beta)$ の加法定理を示せ。

- d) 関係式 $\sin \theta = \cos\left(\frac{\pi}{2} - \theta\right)$ を用いて、 $\sin(\alpha + \beta)$ の加法定理を示せ。
[ヒント : $\cos\left(\frac{\pi}{2} - (\alpha + \beta)\right) = \cos\left((\frac{\pi}{2} - \alpha) - \beta\right)$.]

14 $\sin \theta = -\frac{1}{\sqrt{3}}$, $\pi < \theta < \frac{3\pi}{2}$ のとき、次の値を求めよ。

a) $\sin 2\theta =$

b) $\cos \frac{\theta}{2} =$

15 次の方程式を解け。ただし、 $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。

a) $\sin 2x = \cos x$

b) $\cos 2x + 3 \cos x - 1 = 0$